



PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

This is to certify that the annexed is a true copy of following application
as filed with this Office.

Date of Application: May 21, 1999

Application Number: P11-141433

Applicant(s): Digitiminimi, Inc.

May 19, 2000

Commissioner,
Patent Office Takahiko Kondou

Number of Certification: 2000-3036877



本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

1 9 9 9 年 5 月 2 1 日

出 願 番 号

Application Number:

平成 1 1 年特許願第 1 4 1 4 3 3 号

出 願 人

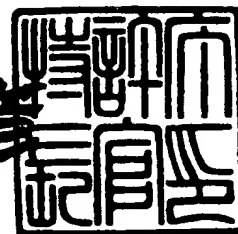
Applicant (s):

株式会社ディジティ・ミニミ

2 0 0 0 年 5 月 1 9 日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

近 藤 隆 彦



出証番号 出証特 2 0 0 0 - 3 0 3 6 8 7 7

【書類名】 特許願

【整理番号】 DMM-1

【提出日】 平成11年 5月21日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 3/00
G06F 15/20

【発明の名称】 サービス提供システムおよびその携帯端末

【請求項の数】 3

【発明者】
【住所又は居所】 東京都千代田区外神田 2 - 1 9 - 1 4 株式会社ディジ
ティ・ミニミ内
【氏名】 竹中 直純

【発明者】
【住所又は居所】 東京都千代田区外神田 2 - 1 9 - 1 4 株式会社ディジ
ティ・ミニミ内
【氏名】 鈴木 敦

【特許出願人】
【識別番号】 597146684
【氏名又は名称】 株式会社 ディジティ・ミニミ

【代理人】
【識別番号】 100083806
【弁理士】
【氏名又は名称】 三好 秀和
【電話番号】 03-3504-3075

【選任した代理人】
【識別番号】 100068342
【弁理士】
【氏名又は名称】 三好 保男

【選任した代理人】

【識別番号】 100100712

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩▲崎▽ 幸邦

【選任した代理人】

【識別番号】 100087365

【弁理士】

【氏名又は名称】 栗原 彰

【選任した代理人】

【識別番号】 100079946

【弁理士】

【氏名又は名称】 横屋 赳夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100100929

【弁理士】

【氏名又は名称】 川又 澄雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100095500

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 正和

【選任した代理人】

【識別番号】 100101247

【弁理士】

【氏名又は名称】 高橋 俊一

【選任した代理人】

【識別番号】 100098327

【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 俊雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001982

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 サービス提供システムおよびその携帯端末

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンピュータネットワーク上のサービス提供者に携帯電話等の携帯端末で通信事業者を介してアクセスしてチケット等の所定の催し物へ入場する権利などを入手するサービス提供システムであって、上記サービス提供者より上記権利にその権利を証明する信用表示符号を付けて上記携帯端末に送り、上記携帯端末が上記信用表示と共に上記権利を表示することを特徴とするサービス提供システム。

【請求項 2】 上記信用表示が、上記通信事業者が専有的に所定の表示を行う上記携帯端末における専有表示領域に表示されることを特徴とする請求項 1 に記載のサービス提供システム。

【請求項 3】 所定の催し物へ入場する権利を記憶し、その権利を随時表示可能であることを特徴とする携帯端末。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネット等のコンピュータネットワーク上のサービス提供者（情報提供サイト）に携帯電話等の携帯端末で通信事業者を介してアクセスしてチケット等の所定の催し物へ入場する権利などを入手するサービス提供システムに関し、特に、上記権利を第三者による偽造や改ざんの恐れなしに上記携帯端末へ入れることができるサービス提供システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、コンピュータネットワーク上のサービス提供者である情報提供サイトに公衆回線およびプロバイダー等を介してアクセスし、チケット等の所定の催し物へ入場する権利を予約する機能を有する携帯電話が提案されて来ている。

【0003】

この携帯電話はコンピュータネットワークに接続する機能を有しており、所定

の予約のモードに切り換えて予約動作へ入る。すなわち、上記予約モードに切り換えると、この携帯電話は、基地局、データ通信網、およびプロバイダーを介してコンピュータネットワーク上の情報提供サイト（サービス提供者）へアクセスする。そうすると、上記情報提供サイトより種々の催物の案内情報が上記携帯電話へ送られ表示される。上記携帯電話の持ち主（クライアント）は、その表示された案内を見て希望する催物を選択して予約を希望すると上記情報提供サイト側で予約受け付け可能な場合は、上記情報提供サイトより上記携帯電話へ予約番号および料金振込みの指示情報が送られ表示され予約動作が完了される様になっていた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記従来の携帯電話での予約システムでは、上記予約動作の完了後は従来のチケット入手方法と同じ方法を取っていた。すなわち、上記クライアントは、上記携帯電話より得た予約番号および料金振込み指示情報に従って上記情報提供サイトのサービス提供者と提携しているチケット販売業者へ金融機関を通して料金を振り込み、その振り込み確認後に上記チケット販売業者よりチケットが郵送されて来る様になっていた。

【0005】

言い換えるならば、上記チケットの予約は携帯電話を通して行われるが、相変わらずチケットは紙製であり、従来のチケット業者を介して送られ、それを持って催物の会場へ行かなければならないものであった。

【0006】

従って、上記従来方法では、紙製のチケットを相当数作成しなければならないと共に、通常はチケット販売業者と提携して販売しなければならず、チケット販売に大きな経費がかかってしまうものであった。

【0007】

また、チケットを忘れると入場ができないため、クライアントはチケットの置き忘れ等に非常に気を使わなければならない等の欠点もあった。

【0008】

本発明は、上述の如き問題点を解決するためになされたものであり、その第1の目的は、携帯電話にチケット（入場する権利）等のサービスをサービス提供者より直接に入れることにより、紙製のチケットを廃し、経費を大幅に減少させることができるサービス提供システムを提供することを目的とする。

【0009】

本発明の第2の目的は、催し物に入場する等の権利を第三者による偽造や改ざんの恐れなしに上記携帯端末へ入れることができるサービス提供システムを提供することである。

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明の特徴は、コンピュータネットワーク上のサービス提供者（情報提供サイト）に携帯電話等の携帯端末で通信事業者を介してアクセスしてチケット等の所定の催し物へ入場する権利などを入手するサービス提供システムにおいて、上記サービス提供者より上記権利にその権利を証明する信用表示符号を付けて上記携帯端末に送り、上記携帯端末が上記信用表示と共に上記権利を表示する様にしたことである。

【0011】

本発明の他の特徴は、上記信用表示が、上記通信事業者が専有的に所定の表示を行う上記携帯端末における専有表示領域に表示されることである。

【0012】

本発明の他の特徴は、携帯端末が、所定の催し物へ入場する権利を記憶し、その権利を随時表示可能であることである。

【0013】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明の実施形態を詳細に説明する。

【0014】

図1は、本発明を実施したサービス提供システムの概略構成図である。

【0015】

図1において、このサービス提供システムは、コンピュータネットワーク1に接続されたサービス提供者の情報提供サイト3と、上記コンピュータネットワーク1にプロバイダ5を介して接続された通信事業者側6のサービス提供モードゲートウェイ7、データ通信網9、および基地局11と、上記基地局11に対して無線通信で接続されるサービス提供モード機能付きの携帯電話機13とを有している。

【0016】

そして、上記情報提供サイト3は、情報提供サーバ15とデータベース17とを有しており、上記ゲートウェイ7は、後述する信用サイト表示（TSI表示：トラスケット サイト インジケータ表示）を上記携帯電話機13に表示させるため上記情報提供サーバ15から送られて来た情報からTSIタグを検出して実際のTSI信号に置き換えるタグ検出置換部19と、上記TSIタグからTSI信号を得るためのTSIデータベース21とを有している。

【0017】

また、上記携帯電話機13は、図2（a）に示す様に、種々の指示を入力するためのキー入力部23と、種々の情報表示を行う表示部25とを有しており、後述する様なサービス提供モードと通常の携帯電話機能である電話モード機能とを有していると共に、図2（b）に示す様に上記機能を達成するためのプログラムメモリ27、CPU29、メモリ31とを有している。なお、上記通常の携帯電話機能は公知であるので説明は省略する。

【0018】

次に、上記サービス提供システムの動作について図3～5図のフローチャートを参照して説明する。

【0019】

このサービス提供システムの動作は大きく分けて予約動作、チケット（権利）受け取り動作、および入場動作に分かれる。

【0020】

まず、図3を参照して上記予約動作について説明する。

【 0 0 2 1 】

上記予約動作は、図 3 のステップ 1 0 1 において、クライアントが上記携帯電話機 1 3 のキー入力部 2 3 を操作して電話モードからサービス提供モードに切り換えると、ステップ 1 0 3 において、上記携帯電話機 1 3 よりのアクセス信号が上記基地局 1 1、パケット通信網 9、プロバイダ 5、コンピュータネットワーク 1 を介してサービス提供者の情報提供サイト 3 と接続状態となりアクセスされる。

【 0 0 2 2 】

次に、ステップ 1 0 5 において、上記情報提供サイト 3 より上記携帯電話機 1 3 へ提供されるサービスのメニュー（案内）が送られて来ると、上記携帯電話機 1 3 の表示部 2 5 に上記メニューが表示される。ここで、上記情報提供サイト 3 よりのメニュー情報は、上記サービス提供モードゲートウェイ 7 のタグ検出置換部 1 9 を通過するが、上記メニュー情報には T S I タグが付加されていないのでそのまま通過する。

【 0 0 2 3 】

次に、ステップ 1 0 7 において、クライアントは上記携帯電話機 1 3 の表示部 2 5 に表示されたサービスメニューを見て所定のサービス（この場合所定チケットの予約）を指定すると、その指定信号は上記情報提供サイト 3 に送られ、ステップ 1 0 9 において、上記情報提供サイト 3 側で予約受け付け可能（席が空いている）であれば予約了解の通知（予約番号等）を上記携帯電話機 1 3 へ送る。

【 0 0 2 4 】

次に、ステップ 1 1 1 において、上記予約了解通知を受けたクライアントは、上記携帯電話機 1 3 を通してクレジットカードのカード番号および暗証番号等を上記情報提供サイト 3 へ通知し、料金の決済を行い予約を完了する。なお、上記料金の決済のやり方は通常の金融機関への振り込み等の種々の方法が考えられるが、本発明の要旨ではないので詳細な説明は省略する。

【 0 0 2 5 】

次に、図 4 を参照して上記チケット（権利）の受け取り動作について説明する。

【0026】

まず、図4のステップ201において、上記図3のステップ111における料金の決済が終了すると、上記情報提供サイト3より上記クライアントの携帯電話機13へ向けてTSIタグの付いたチケット情報（権利）が送付される。そうすると、ステップ203において、上記TSIタグの付いたチケット情報は、上記コンピュータネットワーク1およびプロバイダ5を介して通信事業者のサービス提供モードゲートウェイ7に入力され、上記ゲートウェイ7のタグ検出置換部19は、上記チケット情報に付加されているTSIタグを検出する。ここで、上記TSIタグは、上記支払い料金と等価の権利であるチケット情報が信用できるサイトから送られてきた確かなものであることを確認するためのものである。ここで、上記TSIタグ自体が信用できるサイトから送られて来たものか否かの判断は、上記TSIタグのIPアドレスを上記通信事業者が確認することで行われる。

【0027】

次に、ステップ205において、上記検出されたTSIタグは、上記TSIデータベース21へ送られ、上記データベース21において上記TSIタグに対応するTSI情報が読み出されて出力され、ステップ207において、上記読み出されたTSI情報は、上記タグ検出置換部19へ入力され、上記チケット情報のTSIタグが上記TSI情報に置換されて出力される。

【0028】

なお、上記ステップ205において、上記TSIタグに対応するTSI情報が無い場合は、そのTSIタグは削除されるのでTSI情報は表示されない。

【0029】

次に、ステップ209において、上記出力されたTSI情報とチケット情報は、上記データ通信網9および基地局11を介して上記携帯電話機13へ送られるわけであるが、上記TSI情報は、上記通信事業者が上記携帯電話機13の表示部25内で専有的に所定の表示を行う専有表示領域33（図6参照）の表示を行う制御情報に加えられて送られ、上記チケット情報は上記専有表示領域33以外の一般表示領域に表示される一般信号として送られる。

【0030】

従って、ステップ211において、上記携帯電話機13が上記TSI情報の加えられた制御情報およびチケット情報を受け取ると、上記表示部25には、例えば、図6に示す様に、上記専有表示領域33にTSI情報（この場合、STKT22）が表示され、上記一般表示領域にはチケット情報（この場合コンサート情報）が表示される。なおこのTSI情報およびチケット情報は、一対として上記メモリ31（図2（b）参照）に記憶され、所定の操作により表示可能となっている。

【0031】

なお、上記ステップ209における上記TSI情報の上記携帯電話機13への送り方であるが、上記制御情報として送らずにチケット情報と共に一般信号として送り、上記携帯電話機13側で分離して、上記専有表示領域33に表示する様にしても良い。なお、この際、上記TSI情報を暗号化して送ればより安全性が増す。

【0032】

次に、図5を参照して、上記コンサートの入場動作について説明する。

【0033】

まず、図5のステップ301において、上記クライアントは、上記コンサートの当日に上記携帯電話機13を持ってコンサート会場へ行き、ステップ303において、会場受け付けにおいて上記携帯電話機13を操作して上記メモリ31に記憶されたTSI情報およびチケット情報（図6参照）を読み出して上記表示部25に表示させ、上記会場受け付け係に見せる。

【0034】

そこで、ステップ305において、上記会場受け付け係は、上記表示されたチケット情報とTSI情報（この場合STKT22）をチェックして予じめ知らされたTSI情報とチケット情報であるか否かを確認して合っていれば入場を許可する。ここで、特に、上記TSI情報は、信用のあるサイトから送られて来たか否かが確認済みであり、また、上記通信事業者のみが扱える専有表示領域33に表示されているのでクライアント側での偽造や改ざんが不可能となっている。

【0035】

なお、上記入場の際に、通常では入場者の確認や入場済チケットの確認のためにチケットの一部を取り去る「もぎり」の処理が必要となるが、この発明の場合、上記受け付け係に上記携帯電話機 1 3 を見せる際に、上記携帯電話機 1 3 に所定操作をしてもらい、それによりもぎり済の表示を得る様になっている。

【0036】

なお、上記所定操作に呼応してサイトにアクセスし入場者の確認をしても良い。

【0037】

【発明の効果】

以上の様に、本発明によれば、携帯電話の表示部における通信事業者の専用表示領域に権利を示す T S I 表示を行うことにより、チケット等の権利を第三者による偽造や改ざんの恐れなしに上記携帯端末へ入れることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明を実施したサービス提供システムの概略構成図である。

【図 2】

図 1 に示した携帯電話機の説明図である。

【図 3】

図 1 に示したサービス提供システムの動作フローチャートである。

【図 4】

図 1 に示したサービス提供システムの動作フローチャートである。

【図 5】

図 1 に示したサービス提供システムの動作フローチャートである。

【図 6】

携帯電話機の権利の表示例を示す図である。

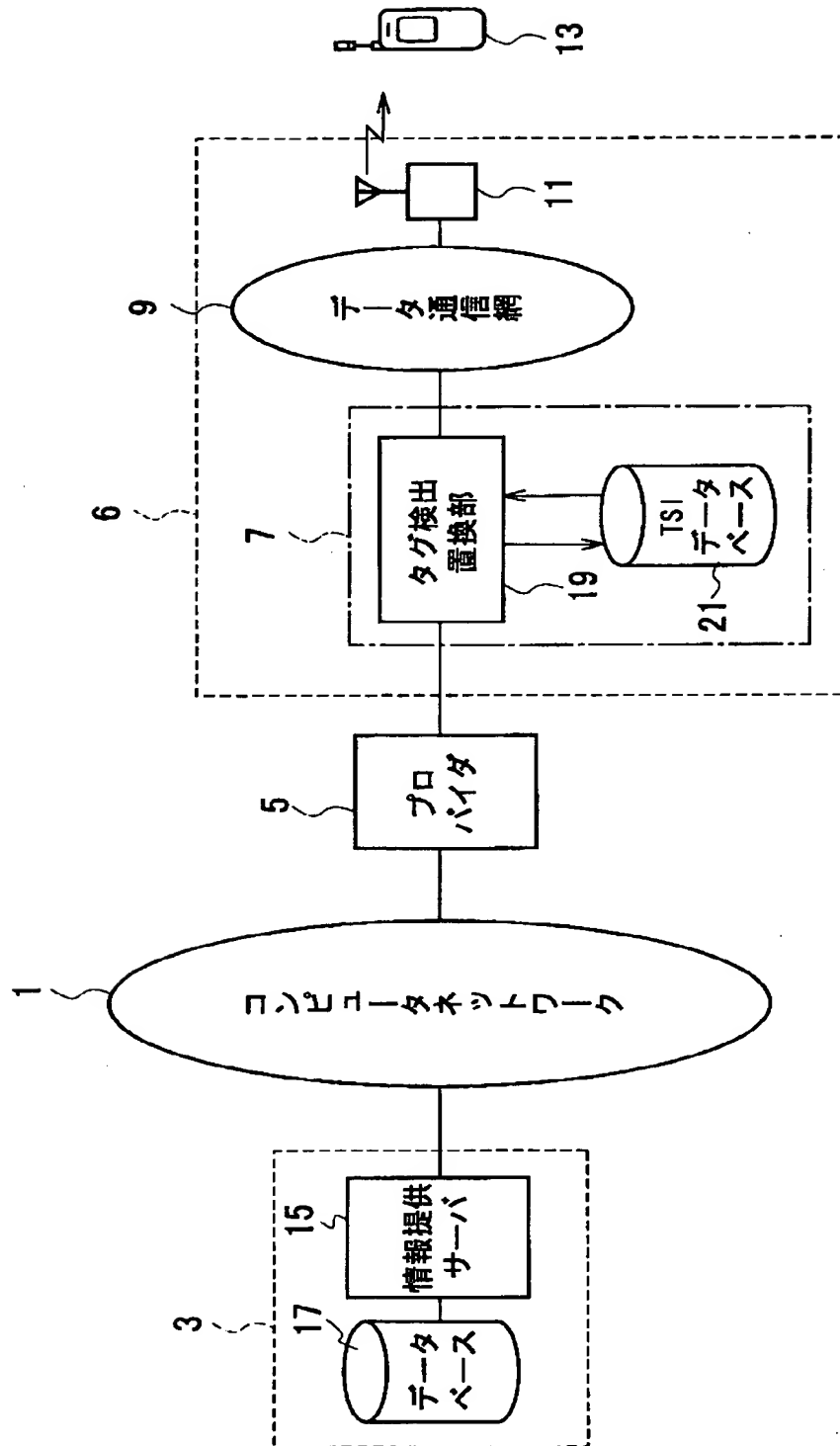
【符号の説明】

- 1 コンピュータネットワーク
- 3 情報提供サイト（サービス提供者）

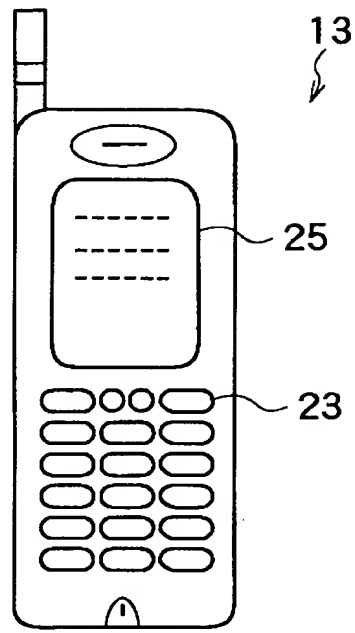
- 5 プロバイダ
- 6 通信事業者
- 7 サービス提供モードゲートウェイ
- 9 データ通信網
- 1 1 基地局
- 1 3 携帯電話機
- 1 5 情報提供サーバ
- 1 7 データベース
- 1 9 タグ検出置換部
- 2 1 T S I データベース
- 2 3 キー入力部
- 2 5 表示部
- 2 7 プログラムメモリ
- 2 9 C P U
- 3 1 メモリ
- 3 3 専有表示領域

【書類名】 図面

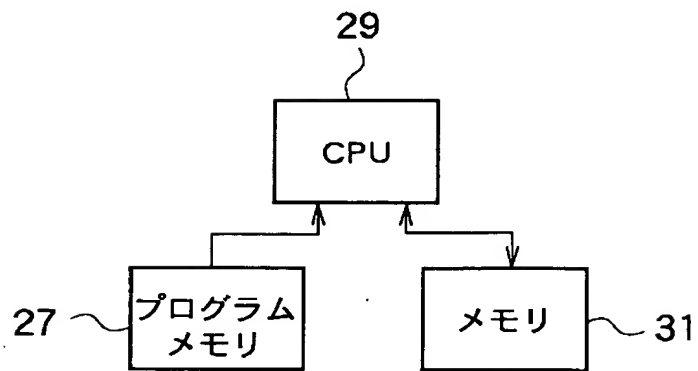
【図 1】



【図 2】

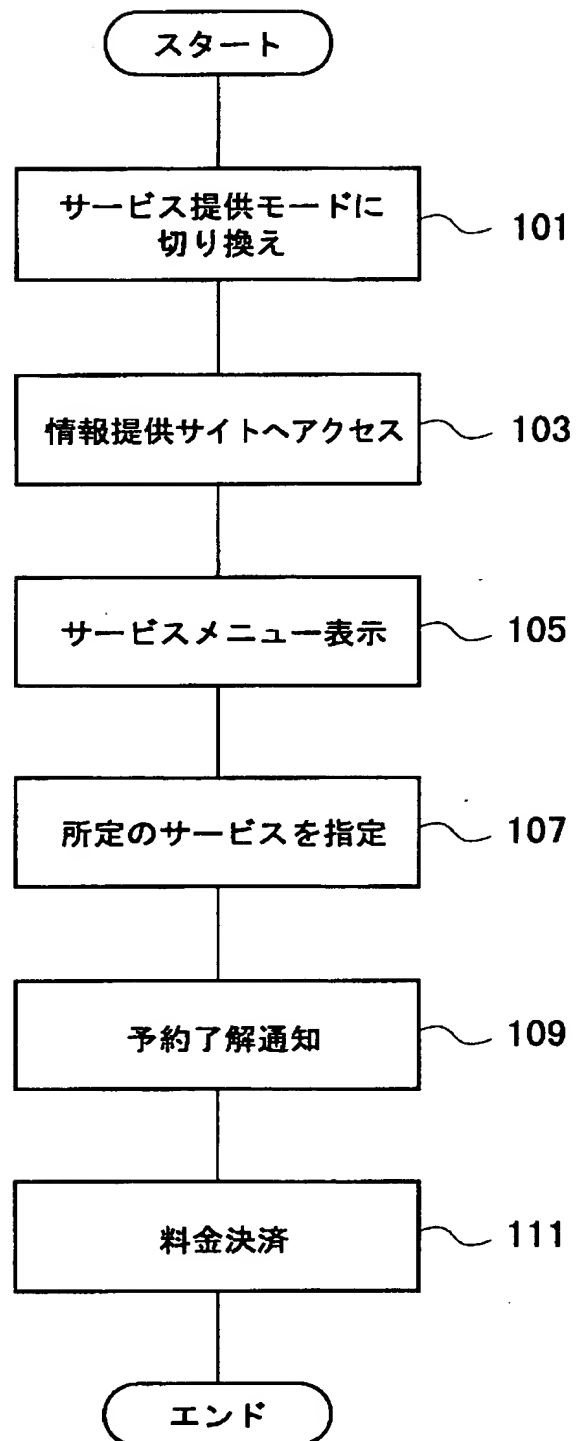


(a)

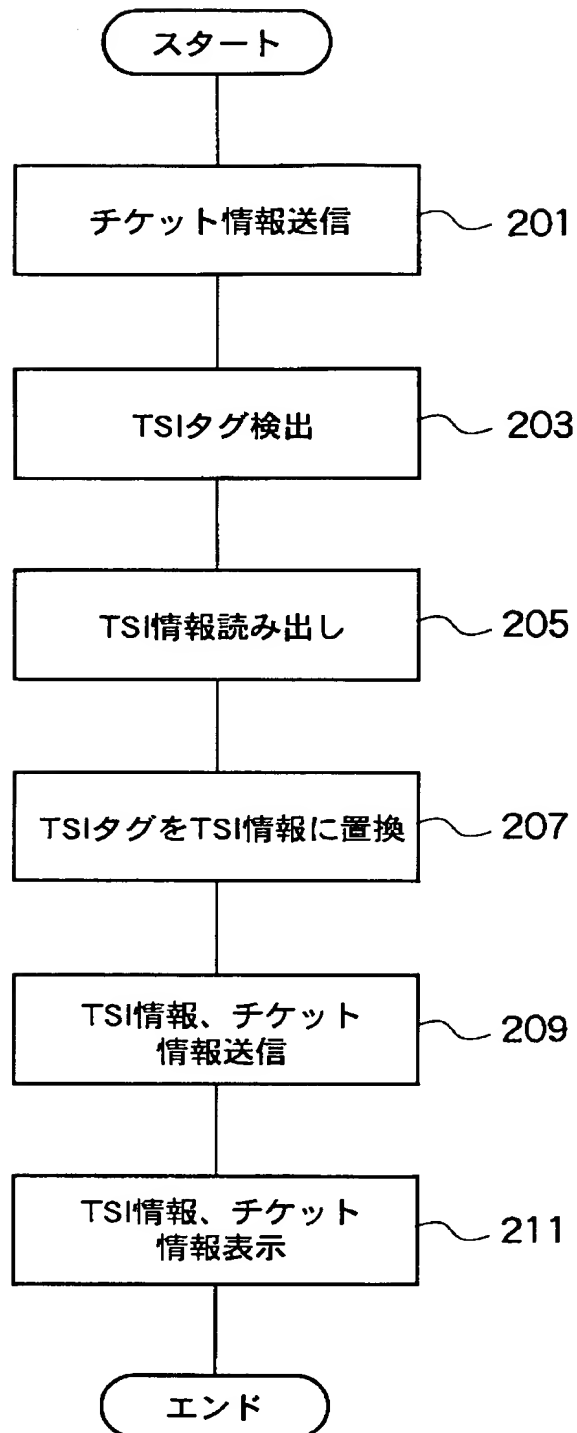


(b)

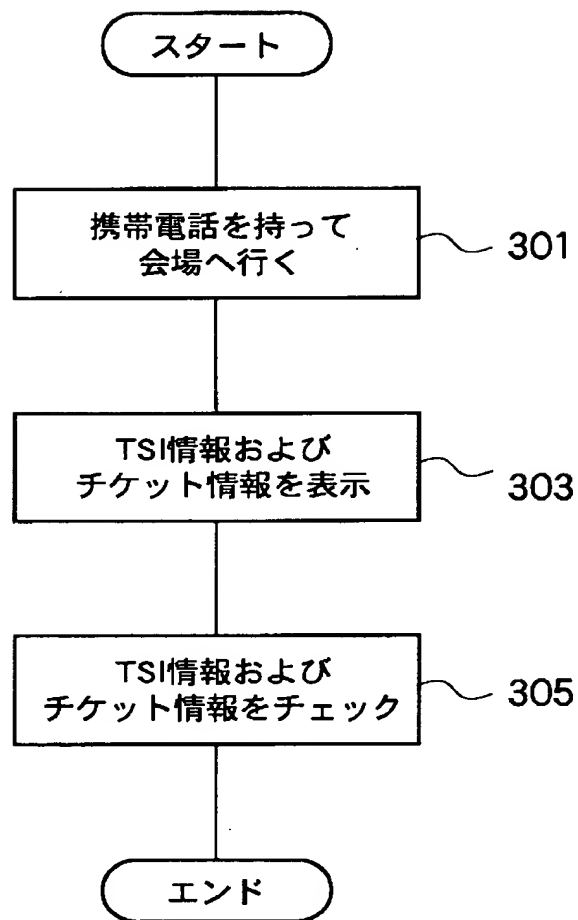
【図 3】



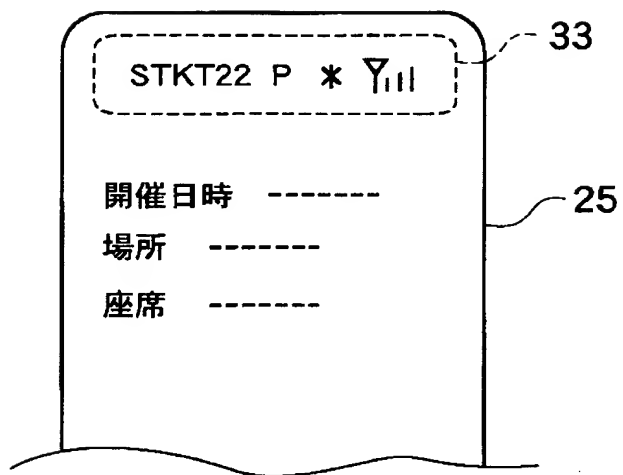
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 携帯電話にチケット（入場する権利）等のサービスをサービス提供者より直接に入れることにより、紙製のチケットを廃し、経費を大幅に減少させることができるサービス提供システムを提供する。

【解決手段】 コンピュータネットワーク上のサービス提供者（情報提供サイト）に携帯電話等の携帯端末で通信事業者を介してアクセスしてチケット等の所定の催し物へ入場する権利などを入手するサービス提供システムであって、上記サービス提供者より上記権利にその権利を証明する信用表示符号を付けて上記携帯端末に送り、上記携帯端末が上記信用表示と共に上記権利を表示することにより、上記権利を第三者による偽造や改ざんの恐れなしに上記携帯端末へ入れる構成となっている。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [597146684]

1. 変更年月日 1997年10月16日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区外神田2-19-14

氏 名 株式会社ディジティ・ミニミ